

北海道バスケットボール協会ガイドラインを踏まえた大会再開に向けた  
北見地区バスケットボール協会ステートメント（令和2年7月4日付）

◎基本的な考え方

1. 生命・健康の安全を優先として、感染拡大リスクを最大限排除し、選手・チーム、審判、運営スタッフ、関係者の家族などが安全・安心して活動できる環境を確保する
2. 北海道や開催地区自治体等からの要請を踏まえて、感染症対策を実施する。
3. JBA・北海道バスケットボール協会からのガイドラインを遵守するとともに、競技特性を考慮し参加承諾書、健康チェックシート及び施設管理者から求めのある書類提出に努める。
4. 大会規模、開催時期、カテゴリー（小・中・高・社会人）事情による個別注意事項があるため、各大会要項を注視する。
5. 大会会場施設の使用制限（収容人数等）については、所属長及び施設管理者の判断を優先する。

◎感染対策の基本

主催者及び参加者（チーム）がそれぞれ、事前・事業実施・事後に相互に連絡を取り合え、感染防止のための協力体制を構築する。

次の事項に該当する場合は、自主的な参加の見合わせを行う。

1. 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
2. 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
3. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされてる国、地域等渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

◎基本の感染防止

1. 大会等の参加者全員がマスク着用し、会話を最小限に留める。（アップ・試合中・チームベンチエリアにいる交代要員は除く）※ベンチにマスクの落とし物が無いよう各自で管理
2. 大会等の参加者全員が自宅にて体温を検温する。検温を忘れた場合は、各会場入り口で体温を大会関係者により検温してもらい会場に入場する。
3. 大会等の参加者全員がソーシャル・ディスタンス確保を徹底する。
4. 大会等の参加者全員が基本的な衛生エチケットを遵守する。（咳エチケットの励行等）  
※参加者全員とは、選手、審判、運営スタッフ、関係者の家族など

◎消毒剤等の準備

1. アルコール消毒剤の使用ができるように準備、設置し、頻繁に手洗いを実施する。
2. 令和2年度の北海道バスケットボール協会主催大会における消毒剤（アルコール）、体温計（非接触型）ペーパータオル等は主管する北見地区バスケットボール協会が準備する。

◎接触感染防止

1. 複数の人が接触する部分は、頻繁に消毒する。（アルコールスプレー・ペーパータオル）
2. ゲーム前にチーム関係者・審判などは手指を消毒してアリーナ（競技場）に入場する。
3. ボール等の消毒に不向きな用具及び器具については、用具や器具の消毒ではなく手洗いを頻繁に行うことで対応する。
4. 試合前後または試合中に、握手、ハイタッチ等を避ける。
5. タオル、ドリンクボトルの共用はしない。
6. ごみ処理（鼻をかんだティッシュ・ペットボトルなど）は接触感染を防ぐための各自で行う。  
※ゴミは、自己管理の上持ち帰る。

◎密集・密閉・密接防止

1. 体育館等は、可能な限りドアや窓を開けるなどして換気を行う。
2. 観客席等は、周囲に人となるべく距離を空け、密になることを避ける。
3. 諸室等は、可能な限りドアや窓を開けるなどして3つの密が発生する環境を防止する。
4. 更衣室は換気扇を回し、カーテンやボード等で配慮しつつドアや窓を開けて換気する。

◎感染防止の啓発

1. 感染症予防のための注意事項は各チームを通じて周知し又、会場に掲示し、遵守する。

◎事後対応

1. 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、当日の参加者から取得した書面や健康チェックシートに保存期間を明記した上で保存する。
2. 事業終了後に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は速やかに報告する。
3. 事業実施中は可能な限り行動記録を作成する。

◎参加者等の感染症以外の疾病等の防止

1. 熱中症防止のためのこまめな水分補給を行う。